

節電に協力しましょう

3.11東日本大震災の発生により、関東地方では、夏場の冷房需要期に、電力需要が供給を上回ることによる大停電が予測されましたが、多くの国民、企業等の協力により、その危機を乗り越えることができました。しかし、電力供給能力が低水準である状況は変わっておらず、来るべき冬の暖房需要期に向けて、ひきつづき、広範な節電の努力が求められています。住宅等ご家庭における電力使用量は、全使用量の30%を占めるといわれています。各ご家庭において、下記の見直しを行って、電力使用量とピーク電力を削減し、電力危機乗り切りに貢献いたしましょう。

1. 暖房の見直し

暖房は真に必要なか、見直しましょう。重ね着、ひざ掛け使用等で我慢できないか検討し、必要最小限の時間、最低限の設定温度での暖房に留めましょう。可能なら、当面、電気暖房でなくガス・石油で代替しましょう。部屋全体を暖房するには、消費電力が大きいので、電気ヒータ、電気ストーブ、パネルの使用はやめましょう。



「厚着をして暖房OFF！
電気ヒータ/ストーブ/
パネルは使わない！」



2. 照明の見直し

こまめな消灯を行いましょう。日中は、ブラインドやカーテンを開け、屋外の光で過ごすようにしまししょう。



「カーテン開けて
照明OFF！」

白熱電球は、電気を多く使います。電気使用量の少ない蛍光灯やLEDに切り替えましょう。



「白熱電球は電球形蛍
光灯かLEDに交換！」

3. 冷蔵庫の見直し

冷蔵庫の設定温度は「弱」にしましょう。
複数の冷蔵庫をもつご家庭では、真にその台数が必要かどうか、見直しましょう。
省エネ型への取替えも有効。



「設定温度は弱に！
2台目はなくてもOK！」

4. テレビの見直し

「だらだら見」はやめましょう。画面が明るすぎないか、注意しましょう。
複数のテレビをお持ちのご家庭は、当面1台を使いましょう。



「見ないときは
OFF！」

5. プラグの見直し

電気器具のプラグは、コンセントに差しおくだけで電気を消費するものもあります。使用していない時間帯は、プラグを抜きましょう。



「使わないとき
プラグ抜く！」

6. パソコンの見直し

使用しないときはスイッチを切るか、省エネ(スリープ)モードに切り替えましょう。
画面は明るすぎないように調整しましょう。



「使わないときはス
イッチOFF！」

7. 温水便座の見直し

トイレの温水便座は、必要な時だけプラグをコンセントに入れるように見直しましょう。



「夜間はOFF！」